

学校 教育 目標	○あいさつ(地域社会の一員としての自覚・礼儀・感謝・コミュニケーション)【公】【開】				
	○ともだち(生命尊重・共生・人権)【徳】				
○チャレンジ(自己肯定感・学力向上・体力向上)【知】【体】					
○やくそく(規範意識・人の話を聞く・時間を守る・公共心・食育)【徳】					
学校 概要	創立 41 周年	学校長 持丸 隆一	副校長 足立 一明	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 313 人 主な関係校: 中和田中学校、泉ヶ丘中学校、和泉小学校、中和田小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<協働して課題解決していく力> <自分づくりに関する力> <自らの手でよりよい社会を創り上げていく力>	中和田中学校 中和田小学校 和泉小学校 上飯田小学校	○自ら進んで挨拶ができる児童生徒 ○地域の一員として行動できる児童生徒 ・「人権」をテーマにしたブロック授業研究会を年に二回設定し、各教科において、 テーマを意識した授業を展開する。 ・児童生徒交流日やサマーチャリティコンサート等を活用して、児童と生徒の交流 を図る。 ・中学校の先生を招いて、外国語科の授業研究会を行う。

中期 取組 目標	○「主体的・対話的で深い学び」を展開するために、教師の指導技術の向上、学習規律の確立、課題解決に向けて粘り強く積極的に自ら学び続ける子どもを育て、学力向上を目指します。【知】○保護者・地域社会との連携のもと、物事の善悪をきちんと判断し、社会のルールを守る規範意識や礼儀を大切にできる態度を育て、相手を思いやり、尊重する心や態度を育てます。【徳】○保護者と協力し、心と体の健康に向かって望ましい生活習慣を身に付け、自ら健康づくりに取り組む子を育てます。【体】○共に生きようとする心を育てるために、学校運営協議会との一層の連携を図り、地域に愛着をもち、将来的に地域の担い手ともなる子を育てます。【公】○「答えのない問題」に最善解を導く総合的な力を養い、自分の未来に夢と希望をもち、力強く生きようとする子どもを育てます。【開】
-------------------------	--

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 教務部・学力向上プロジェクト	①「主体的・対話的で深い学び」のある授業を目指して研修を充実し、授業力の改善に取り組めます。②学力向上プロジェクトを立ち上げ、学習状況調査の結果を分析し、授業改善に努めます。また、学校全体で教材を統一し、安心して学べる環境を整え、子どもたちの確かな学力を育てていきます。
豊かな心 担当 教務部	①重点研究を中心として、誰もが安心して豊かに生活できる学校づくりを目指し、公正、公平、平等に基づく社会正義について考えさせ、いじめがおこりにくい学校を作っていきます。②道徳の学習の時間を要として、自分を知り、他者や社会との関わりの中で相手を思いやり、尊重する態度を育みます。
健やかな体 担当 教務部・体育部	①「ロング昼休み」を継続し、児童が伸び伸びと外遊びができる環境と時間を保証して、体力の向上を図ります。②食育推進校として、家庭科や保健の学習を中心に、食の大切さを子どもたちが自覚できるようにします。③安全に対する意識を高め、けがの予防に努めます。
人間関係形成 担当 教務部・特活部	重点研究(特別活動)や道徳の時間等を中心に、様々な日常的な問題、課題を自分事として捉え、話し合いで解決していくことを通して、社会的マナー、規範意識や相手を尊重する態度・姿勢を大切にできる子どもを育てます。
学校運営協議会 担当 教務部	①年間3回、学校運営協議会を開き、子どもたちの学力や学習状況、生活意識や態度等について幅広く議論することで学校運営についての参画を高めます。②学校を開く週間では、校内子ども会議に運営協議会委員として参加し、直接子どもたちと対話する場を設けます。
特別支援教育 担当 特別支援教育委員会	①個別支援学級の教育環境改善をさらに進め、個の特性に応じた指導ができるようにしていきます。②一般学級、個別支援学級共にICTの積極的な活用を推進すると同時に学びのめあてを明確化し、見通しをもち学べる支援を行います。
自分づくり教育 (キャリア教育) 担当 キャリア教育担当	生活科や社会科、総合的な学習の時間を中心とした地域の人々や様々な職業の方との出会いを通して、身近な人の仕事や役割、生き方があることに気付き、地域や社会と自分のつながりを実感するなかで、自分や地域の良さや役割を自覚することができるようにします。
社会に関かれた 教育課程 担当 教務部	①広報部の活動を充実させ、学校だよりやホームページを通して、児童の活動や学校の様子を掲載することで、学校や子どもたちの取り組みを公開していきます。②学校説明会では、学校の取組が分かりやすくなるような工夫を図り、保護者が学校の方針や運営の様子を把握し参画しやすくします。
いじめへの対応 担当 教務部・児童指導専任	①法令に則り、「いじめ」を認知し、情報を共有できる体制を強化します。②校内子ども会議を設定し、社会正義が育つ話し合い活動の様子を授業公開し、地域の人も参加して対話ができる場をつくります。③学校カウンセラーをはじめ、さまざまな外部機関との連携を密にし、適切に対応します。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革) 担当 教務部	①経験豊かな教員の助言のもと、中堅教員がミドルリーダーとしてリーダーシップを発揮し、経験の浅い教員を育てる組織を作ります。②学校規模や職員構成に応じた組織の在り方や業務内容の改善を図る。③チームで仕事をすることで会議を減らし業務内容の精選を図っていきます。